

大田稲門会 2023年度 定期総会 議事録

1. 日時：2023年5月28日（日） 12時～12時30分

2. 場所：蒲田 プラザ・アペア

3. 議案：1号議案 2022年度活動報告
2号議案 2022年度会計報告並びに監査報告
3号議案 2023年度活動計画
4号議案 2023年度予算案
5号議案 役員改選

4. 資料：「大田稲門会 定期総会 議案書」

5. 開会

磯部副会長の司会により開会が宣言された。出席者数等について以下の発表があった。

・本総会の出席者は現時点で78名、委任状受理が111名、合計189名。4月1日時点の会員総数283名の過半数を超えていることを報告。

・この1年間の会員物故者のご冥福を祈り全員で黙とうを行った。物故者は以下の4名の方々。野澤 侑司さん（昨年5月ご逝去）、中島信亮さん（同7月）、池田丈夫さん（同9月）、金沢和正さん（同10月）。

6. 議長選出

司会より議事に先立ち議長を安田会長に依頼したいと提案があり、出席者の満場一致で承認された。

7. 議事

議長より本総会の議事録署名人を小泉監査に依頼したいと提案があり、出席者からの満場一致で承認された。

・議事内容と質疑・承認結果は以下の通り。

① 1号議案（2022年度活動報告）

熊川幹事長から資料に基づき説明があった。2022年度は一部コロナ禍の影響を受けたが、ほとんどの行事が対面で出来たこと、特に定期総会が3年振りにリアル開催出来たこと、多くの行事に大勢の参加者があったことなどの説明があった。また会報誌が37号から表紙題字と挿絵が一新されたほか内容も充実化したことの報告があった。

② 2号議案（2022年度会計報告並びに監査報告）

薄根会計から資料に基づき説明があった。校友会強化費を増額できたことと諸支出を減額できたことで次期繰越金を129万円余りに増額することができたと報告があった。

続いて矢野監査から4月4日の行われた会計監査において、会計内容が公正かつ適切・正確であることと会計担当に対する慰労の表明があった。1号議案、2号議案両件について意見、質問なく、出席者からの満場一致にて承認・可決された。

③ 3号議案（2023年度活動計画）

熊川幹事長から資料に基づき説明があった。2022年度後半から開始された「この指とまれ」活動が会員に好評だったため、今年度はさらに増強・活発化すること、新たに地域への貢献活動を模索していくことなどの報告があった。

④ 4号議案（2023年度予算案）

熊川幹事長から資料に基づき説明があった。会費収入は280名を想定したこと、支出では制作費、会場費、通信費の値上がりを見込んだこと、そのため次期繰越金が100万円ちょうどとなることの報告があった。3号議案、4号議案両件について意見、質問なく、出席者からの満場一致にて承認・可決された。

⑤ 5号議案（役員改選）

土生事務局長から役員改選に関する説明があった。3月18日の役員会にて安田現会長が会長候補

に推薦され、その後の役員選出委員会で自薦・他薦の立候補者が検討され、第4回選出委員会にて会長を含む23名の幹事候補、監査候補が推薦されて5月20日の役員会で承認されたことの報告があった。候補者について壇上に掲示され、土生事務局長が氏名を読み上げた。5号議案について意見、質問なく、出席者からの満場一致にて承認・可決された。

8. 退任役員紹介

安田会長より、退任される幹事と相談役計5名の氏名が読み上げられ、長年の労をねぎらう謝辞があった。

9. 来賓紹介

司会より、大学からの出席者、柿下尚哉氏の紹介があり、懇親会にて挨拶頂く旨の発言があった。

10. 閉会宣言

司会から本総会の議案全てが承認・可決された旨の報告と閉会宣言があり、2023年度定期総会が終了した。

以上

2023年（令和5年）5月28日

大田稲門会定期総会 議事録署名人：小泉正晃監査

小泉正晃
